

# 美作国創生公募提案事業 事業成果報告書

- 1 事業名：城西☆ふれ愛ひろば
- 2 実施団体：城西まちづくり協議会
- 3 協働担当課：健康福祉部健康福祉課

## 4 事業概要

城西まちづくり協議会では、自立した地域づくりを目指し未就園児親子の居場所作りとして子育てサロン「さくらんぼ」、小学生対象の学習支援と体験活動の場として「まちばの寺子屋」、高齢者・障害者などへの支援として城西支援事業「おたすけ隊」などの事業を行っている。

城西まちづくり協議会福祉部会で「おたすけ隊」を運営する中で、課題として、弁当の配食サービスでは飽きてしまい、栄養が偏りがちになる高齢者の食事の支援と、孤立しがちな高齢者が交流できる居場所づくりの必要性が挙がってきた。将来的には地域の空き家を利用した事業につなげたいと考えている。その一歩として、城西公民館を使い“ふれ愛ランチ”、“ふれ愛カフェ”を試行的に開き、地域の高齢者の方が食事をしたり、お茶を飲みながら交流できる場を作り、運営は城西まちづくり協議会と城西地区住民が有償ボランティアがかかわる。特に外に出にくい高齢者や、これまで声掛けが十分できていなかった方の参加を促したいので、町内会長、民生委員、愛育委員の方に、声かけや現地までの同行をお願いした。

月に1回のふれ愛ランチは500円で提供し、地元の農家と連携して野菜をふんだんに使ったランチの提供をした。

また、月に1回のふれ愛カフェの参加費は100円とし、参加者は簡単な脳トレになるようなクイズや製作などをとりいれスタッフと一緒に楽しめるようにした。また、子育てサロンの子どもたちとの交流をしたり、四季折々のお菓子をいただき、誰もが集えるひろば作りを目指した。

城西地区では、城西まちづくり協議会を核に、地域全体で子育て支援や高齢者の支援を行ってきた。この支援のネットワーク網をより細かくして、お互いが助け合える関係作りの構築を目指している。将来的には、地域が自立するための財源確保が必要になるので、今回の事業をコミュニティービジネスへ移行させ、持続可能な地域づくりのための原動力とすることも視野に入れている。今年度はノウハウを積み上げるためにランチ、カフェとも月に1回ずつ実施して仕組みを構築した。この事業が、今後の城西地区および、周辺地域のまちづくりにも繋がっていくことを期待している。

## 5 実施内容

	カフェ		ランチ		寺子屋	
	開催日	参加人数	開催日	参加人数	開催日	参加人数
8月	9日	21名	16日	14名		
9月	6日	22名	20日	14名		
10月	4日	34名	18日	19名		
11月	1日	24名	15日	26名		
12月	6日	24名	20日	20名	17日	16名
1月			17日	19名	28日	14名
2月	7日	20名	21日	26名	25日	23名
3月	7日	23名	21日	28名	25日	16名
合計	7日間	168名	8日間	166名	4日間	69名



**福祉部会員による試食会**  
**7/19(火)11:00~27名参加**  
 試食会では、スタッフが献立や材料などについて説明。試食後、見た目・分量・メニューについてのアンケート実施



**ふれ愛カフェ(100円)**  
**毎月第1火曜日10:30~7回開催**  
 8月9日より営業を開始した。相席となった地域のおじいちゃんと子どもが、オセロゲームを楽しむ様子が見られた。



**接客スタッフの様子**  
 スタッフは最初はとても緊張していた。始める前には入念に打ち合わせを行うようにした。



**厨房スタッフの様子**  
 料理好きな方ばかりなので、スタッフ同士が学び合うことも多くあった。



### ふれ愛ランチ(500円)

毎週第3火曜日10:30~8回開催  
旬のもの、地産地消、安心安全な食  
材などに気を配り、献立を考えている。



### トレーニングの時間

お茶を待つ間に、スタッフと簡単な箸置  
き作りを体験している。他にも簡単な脳  
トレプリントなども提供している。



### 子育てサロン「さくらんぼ」の お母さん方

「ふれ愛ひろば」と同じ火曜日の開催な  
ので、希望するお母さんたちにも楽しん  
でもらえる時間となった。



### 野菜と魚の市

#### 毎月第3日曜日開催

「ふれ愛カフェ」の手作り菓子を試食提  
供。チラシを配って「ふれ愛ひろば」への  
参加を呼びかけた。



### 城西公民館文化祭

#### H. 28. 11. 13開催

オープンカフェ開店。子ども達のおやつに  
と、手作り菓子を買ってもらえる親子  
さんや、地域の方にも「ふれ愛カフェ」を  
楽しんでもらえることができた。



### 寺子屋ランチ(H.28.12月~)

#### 毎月第4土曜日12時~4回開催

子どもの孤食対策として、給食のない  
土曜日に安価で昼食を提供。

- ・小学生200円
- ・中学生以上300円





### スタッフ会議 毎月1回開催

月1回の会議だけでなく、カフェやランチをした後にも、毎回スタッフ同士でその日のふり返しを行い、運営に生かしている。



### 広報チラシ 随時町内回覧

城西地区の各町内会への回覧や、公民館に置くことで地域住民に知らせた。また、新聞社に取材依頼し、広報に努めた。

## 6 事業実施による成果、効果、今後の課題

### (1) 成果、効果

#### <スタッフサイド>

- ・ 最初は緊張していた接客を担当するスタッフは、だんだんと顔見知りも増え、楽しんで活動できた。
- ・ スタッフ懇談会では、「楽しかったので、またお手伝いしたい」という声が聞かれ、利用者だけでなく地域の方にとっても、生きがいとなる場所になっている。
- ・ 調理スタッフは料理好きな方々なので、手際よく動かれ、作業手順や盛り付け方のアイデアもあり、スタッフ間での研修や学びの場となった。
- ・ そろいの城西ロゴマークのエプロンや T シャツを着用することで、スタッフ間に一体感が生まれた。
- ・ 毎月 1 回スタッフ会議を行う。毎回実施しているアンケートの報告や、スタッフの当番組み、献立の相談、接客の仕方と利用者の過ごし方などについて話し合い、情報を共有し、共通理解することで活動しやすくなった。
- ・ スタッフ 14 名で始めた事業だが、現在 27 名の登録が有る。

#### <利用者サイド>

- ・ 毎回実施したアンケートには「ゆっくり過ごしたい」との声が多かったため、会場に音楽を流したり、まちがいさがしのプリント・折り紙・小物作りキッド・お手玉などを置いた。遊びを楽しみながら会話が進み、長く滞在してもらえた。

- 高齢者対象のカフェとしてスタートしたが、子どもや孫と一緒に利用されたり、子育て中の母親が参加されたりし、地域の世代交流の場としても活用して貰えた。
- 若い世代のお母さん方は、子育ての情報交換をしながらゆったりと過ごせる時間を楽しんでいた。
- 小学生を対象とする学習支援事業「まちばの寺子屋」に参加されている保護者からの声で、12月より「寺子屋ランチ」を始めた。大人も一緒に食べることで家庭的な雰囲気を作っている。

#### <その他>

- 最初に、まちづくり協議会福祉部会員による試食会を行ったことで、部会員の意識が高まり、地域の高齢者へ声かけをし、広報してもらえた。
- フードバンクの食材を活用することで、材料代を抑えられたと共に、バラエティーに富んだ献立になった。
- 広報チラシを活用している。民生児童委員、愛育委員、老人会、津山市包括支援センターなどと連携することで、新しい利用者が増えている。
- 毎月第3日曜日に作州民芸館イベント広場で行われる「野菜と魚の市」で、手作り菓子のふるまいをした。チラシを配って宣伝したことで、地域の方の利用が増えた。
- 城西公民館文化祭では、飲み物と手作り菓子の販売をして「ふれ愛ひろば」への参加を呼び掛けた。丁寧に案内することが出来たので、地域の方々にはよく理解していただけた。家族へ参加の声かけをして貰えた。  
また、子どものために手作り菓子を買って求める若い世代のお父さん、お母さん方が多く、収益活動の対象者としての手応えを感じた。

#### (2) 今後の課題

- 外に出にくい高齢者や、地域内で引きこもっている高齢者の方々少しでも外に気持ちが向き、出てこられるような居場所を作る。
- これまで声かけが十分に出来てなかった方にも、町内会長や民生委員、愛育委員の方に声かけをお願いして、出向いてもらえるようにする。
- コミュニティービジネスに向けて運営していくためには、城西地域で農業をされている方の協力や、フードバンクなどを利用して価格を抑えたメニューの工夫が必要。  
また、仕事をもつ若い世代とその子どもたちの需要を対象範囲に含めて、利用者・利用回数を増やして、売り上げに繋げる。
- 共働き家庭が増えたり、労働環境の変化により一人で食事をする子どもが増えている。地域の子どもが通う小学校と連携しながら、「寺子屋ランチ」の利用を勧めていく。

## 7 県民局と協働した効果及び課題

- 中間報告会で審査委員からの助言を頂き、アンケートに「参加の目的」を加えた。アンケート結果を参考に、利用者のための居心地の良い場所づくりが出来た。  
また、「単価を上げることの検討」については、利用者からの声もあってカフェの参加料を200円（29年度～）にすることにした。
- 事業を進めていくうちに、分からないことや問題にぶつかることもあった。今後は県民局担当者とさらに連携を図り、城西まちづくり協議会福祉部会会議へ参加をしていただいたり、実際にランチやカフェの様子を見ていただいて、事業の充実を図るためのアドバイスがいただけたらと思う。